



利用にあたって



中央図書館総合カウンター

入館するには

- 入口にある入館ゲートにご自身の学生証・職員証をタッチしてお入りください。
- 学生証・職員証をお持ちでない方はカウンターにて受付してください。
- 図書館利用に際して支援が必要な方は、カウンターにお申し出ください。

貸出

- 図書と学生証・職員証または図書館利用証をカウンターに提出し、貸出手続きをしてください。
- 学生証・職員証をお持ちの方は、自動貸出装置を利用できます。
- 図書の貸出冊数と期間については各館のページをご覧ください。
- 蔵書検索(OPAC)で禁帯出となっている図書は貸出できません。



返却

- カウンターに返却してください。
- 他学部図書館で借りた図書も返却できます。
- 返却が遅れたときは、次の貸出ができないなどの罰則があります。
- 図書を紛失・汚損した場合は、カウンターにご相談ください。

延長

- 返却期限内であり、予約者がいなければ、1回に限り延長ができます。My Library (p.10)、もしくはカウンターか自動貸出装置にて、延長の手続きを行ってください。
- 返却期限が過ぎた図書は延長できません。

学外の方

- 学外の方は、学術研究、調査学習等のため利用することができます。初めてのご来館時には、身分証明書(免許証・学生証等)をお持ちください。
- 館内資料はコレクション等を除き自由に閲覧できます。詳しくは各館のページをご覧ください。
- 図書の貸出を希望される方は、カウンターで図書館利用証の交付申込をしてください。満18歳以上(高校生を除く)の一般市民の方が対象です。利用証は全館共通です。

！ 利用にあたって

図書館資料のコピーについて

●館内にある資料は、調査・研究を目的とするものに限り、1人1部を著作権法で認められた範囲でコピーができます。(ノートや持ち込み資料等、私物のコピーはできません。) コピーをする際は、『複写申込書』に必要事項を記入してください。コピー機の使用にあたっては、以下の点に注意しましょう。

- 1) 図書の場合は、著作物の全部ではなく一部分であること。
- 2) 定期刊行物に掲載された各論文や記事の場合は、1つの論文(記事)の全部ではなく一部分であること。ただし、刊行後相当の期間を経たもの(次号が既刊となったもの、または刊行後3ヶ月を経たもの等)については1つの論文(記事)の全文を複写できる。
- 3) コピー部数は1人について1部のみであること。
- 4) 調査・研究用に限ること。
- 5) 再複写は許されないこと。
- 6) 複写申込書に、誓約事項を確認のうえ必要事項を記入すること。

著作権法 第三十一条 (図書館等における複製等)

国立国会図書館及び図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるもの(以下この項及び第三項において「図書館等」という。)においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料(次項において「図書館資料」という。)を用いて著作物を複製することができる。

一 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分(発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあっては、その全部)の複製物を一人につき一部提供する場合

相互利用について

●各館に所蔵がない場合、他学部図書館、他大学図書館、国立国会図書館などから、図書の借用や、文献のコピーの取寄ができます。利用方法や料金などはカウンターへお問い合わせください。(学内者限定)

館内での禁止事項



飲食



通話



喫煙



荷物放置



大声・談笑

(大学構内全面禁煙)

近隣公共図書館との連携について

- 連携協定を結んでいる県立長野図書館と県内の公共図書館（安曇野市、飯山市、伊那市、大町市、塩尻市、須坂市、松本市、南箕輪村）とは、次のサービスが利用できます。

蔵書検索

- 蔵書検索(OPAC)から、県内連携図書館の蔵書検索へリンクしています。

資料の取寄

- 連携図書館の資料を本学の各図書館へ取寄ができます。カウンターへお問い合わせください。
- 取寄せた資料は、館外利用できない場合もあります。

返却サービス

- 以下の連携図書館と本学の各図書館は、資料を相互に返却できます。
 - ・ 松本市、塩尻市、安曇野市、大町市の図書館 ◀▶ 中央図書館
 - ・ 飯山市、須坂市の図書館 ◀▶ 工学部図書館
 - ・ 伊那市の図書館 ◀▶ 農学部図書館

詳しくは各図書館へお問い合わせください。

館内で地震・火事が発生したら・・・

地震

- 揺れを感じたら、本棚と窓から離れる！
- 揺れている間は机の下に隠れて身を守る！
- 慌てて外に飛び出さない！



火事

- 火事を職員に知らせてください！
- 火元には近寄らない！
- ハンカチやタオルを口にあて、姿勢を低くしましょう！



避難する際は職員の指示に従ってください
日ごろから図書館内の避難経路を確認しておきましょう